

高 岐 高 校 だ じ り

第151号

令和5年5月12日
岐阜県立岐阜高等学校
PTA会長 後藤栄一郎
印刷/ヨツハシ(株)
題字/筑間 敏博

CONTENTS

● 創立百五十周年 挑戦を続けよう	学 校 長………… p1
● 新年度を迎えるにあたり	PTA 会 長………… p2
● 第十二回科学の甲子園全国大会	進路指導部………… p2
● 心豊かで思いやりある岐高生	生徒指導部………… p3
● 「何事にも全力で！」	進路指導部………… p4
● 令和5年度 進路指導計画	進路指導部………… p4
● 令和5年度 大学入試結果	進路指導部………… p5
● 令和5年度大学入試 合格者たちの声	…………… p5～p6
● 奄美大島・屋久島自然科学探究研修	進路指導部………… p6
● 各年次団紹介	年 次 主 任………… p7
● 6・7月行事予定	教 務 部………… p8
● 令和5年度 教職員人事異動	…………… p8



▲対面式



▲入学式

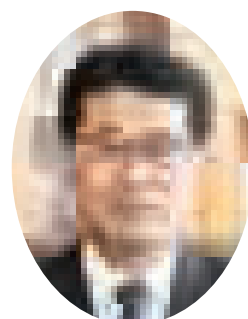


▲部紹介

入学式では、新入生に対して、各自の夢や希望を叶えるため、高校生活において期待することを二つ話しました。

一つ目は「幅広く新たな活動に積極的に挑戦する」ことです。高校では、学業以外にも活躍の場は数多くあります。新たな挑戦は、視野を広げ、人間性を高め、必ず大きな飛躍をもたらします。決して臆することなく、友人と互いに切磋琢磨しながら、新たな活動に積極的に挑戦することを期待します。

二つ目は「二つの『じりつ』を獲得する」こ



学 校 長
石田 達也

創立百五十周年

挑戦を続けよう



今年のはじめは例年よりも桜の開花が早く、新学期を迎える頃には、学校周辺の木々には新緑の若葉が芽を出し始めました。登校する生徒たちの表情にも、心機一転、今年度もがんばろうという気持ちが表れていきます。生徒たちは順調に新年度のスタートを切っているようです。

四月十日には、柔らかな春の日差しの中、令和五年度岐阜高校入学式を挙行し、三百六十三名の新入生を迎えることができました。

新入生の保護者並びにご家族の皆様、改めて、ご入学、誠にありがとうございます。これにより、今年度は全校生徒一、〇七五名で新たなスタートを切ることとなりました。

入学式では、新入生に対して、各自の夢や希望を叶えるため、高校生活において期待することを二つ話しました。

一つ目は「幅広く新たな活動に積極的に挑戦する」ことです。高校では、学業以外にも活躍の場は数多くあります。新たな挑戦は、視野を広げ、人間性を高め、必ず大きな飛躍をもたらします。決して臆することなく、友人と互いに切磋琢磨しながら、新たな活動に積極的に挑戦することを期待します。

二つ目は「二つの『じりつ』を獲得する」こととです。その一つは自らを律する「自律」です。自らを律するとは、自分の信念に従い、自分の行動をマネジメントすることです。時間の使い方、優先順位、弱点強化など、自分の行動がマネジメントできれば、能力は必ず向上します。

もう一つは、自らの足で立つ「自立」です。入学後は自分の将来を自分の意志で選択することが重要です。選択には責任が伴いますが、納得できる選択ができれば、実行力には力強さが加わります。新入生には「自律」と「自立」を獲得することを期待します。

また、同じ日に行われた前期始業式では、WBCやメジャーリーグで二刀流の活躍を続ける大谷選手が高校時代から活用している「目標達成シート」を例に挙げながら、「三年次生にも『自律』と『自立』を意識することの重要性を伝えました。

あわせて、創立百五十周年を迎えるにあたり、岐阜高校の良さを再確認し、愛校心を一層高めて、さらに新たな歴史を築いていこうと生徒たちに呼びかけました。始業式の最後には、約四年ぶりに生徒・職員全員で校歌を斉唱し、感慨深い時間を過ごすことができました。

生徒の皆さんには、本校の長い歴史を継承し、伝統にさらに磨きをかけながら、歩みを止めず、校訓「百折不撓 自强不息」を貫き、高みを目指して挑戦を続けてほしいと大いに期待しています。私たち教職員も、皆さんの心に火をつけるため、精一杯の支援を行います。

保護者の皆様には、今後とも本校の教育活動にご協力いただきますとともに、生徒たちの成長と夢の実現に向けて、温かいご支援をいただきますよう、お願い申し上げます。

新年度を迎えるにあたり



PTA会長
後藤 栄一郎

新年度が始まり、それぞれの人生のステージで新たな道に進む、初々しい面持ちの人達を街で見かけます。この数年は、コロナ禍で見る事ができなかった光景です。改めて、そうした人達の気持ちを想像しながら、新鮮な気持ちで、今春の光景を楽しんでいる方も多いのではないのでしょうか。

昨年度、参加した卒業式で、卒業生代表の答辞に「私たち、失うものが多かった世代」という表現に触れ、雷に打たれるがごとくドキッとした。コロナ禍で、大人の事情を押し通す分、推し量ることができない何かを失った、悔しさの滲む感情に触れ、大人として、子供たちが学び育つ環境を整える責任を改めて感じました。同時に、多難な時期に、教育環境を進化させた、岐阜高校の先生方のひとかたならぬ努力に敬意を感じます。PTAは、教育環境が通常に戻る喜びを噛みしめながらも、コロナ禍の教育への影響を振り返り、前進していかなければいけません。

この数年で、近しい子供達を覗いていると、WEB会議サービス、動画共有サービス、SNSの利用で、時間を効率化し、結論に至るまでの近道を追求する傾向があると感じています。searchとresearch、探究することの違い、本質と真理を探究すること、原理原則は何かを、押し付けでなく、子供達と丁寧に共有することが、一層重要になってきているのではないのでしょうか。また、近道を追求し過ぎ、形を整えることばかり上手になると、人は均一化した成長をすると思えるのは私だけでしょうか。色々な経験をし、複合的に策を講じる力を身につけていかないと、面白い人材には育たないでしょう。PTAでは、皆様から集めた会費を原資に、グローバルリーダー育成事業、PTA事業を実施します。今年は岐阜高校創立150周年にあたり、特別事業も予定されています。大人も、子供達に貰った良い機会とし、一緒に勉強させてもらいながら、子供達の精神や感性に深く触れ、それぞれの価値観を共有し、まわり道を許容しながら実りある時間を過ごすことを祈念します。



第十二回科学の甲子園全国大会

三月十七・十九日に開催された、科学の甲子園全国大会に、第1回大会から12年連続で県代表として出場し、総合成績で第9位に入賞しました。

参加を希望する生徒は、年度当初より校内での学習会を重ね大会に臨みました。夏休みには、隣接する他県の高校生との合同学習会にも参加し、意見交流などの貴重な体験ができました。その後も学習会を重ねて、知識や技術、チームワークを鍛えてきました。本校チームは十一月に行われた県予選での優勝を受け、チームを再編成し全国大会に向け準備を重ねました。

代表チームのメンバーは何れも二次生の、桐山翔、岩本侃大、島田拓弥、喜多川晟汰、後藤銀士路、近藤亮輔、村瀬耀、大西航介の八名で、つくば市の会場で行われた大会に参加しました。全国大会は、「筆記競技」と「物理・実験競技」、「生物・実験競技」、「事前公開の実技競技」が行われ、それぞれの得点の合計で順位が決められます。代表生徒は、個々に物理、化学、生物、



地学、数学、情報の学力を高め、校内学習会などで理科実験の技術を磨き、事前公開競技では大会前日まで試行錯誤を重ねました。

その結果、全ての競技で高い能力とチームワークを発揮し、通算8回目の入賞を果たすことができました。全国大会に参加した生徒だけでなく、学習会や県予選に参加した生徒も含め、大会に向け取り組んだ貴重な経験を、今後の活動で生かしてほしいと思います。後輩の皆さんは、第十三回大会での総合優勝を目指し、今後の学習会に参加してみてください。



心豊かで思いやりある岐高生

生徒指導部

新型コロナウイルス感染拡大もようやく落ち着き、学校活動もようやく以前の状態に戻りつつあります。しかし、この三年間で日常生活も大きな影響を受けてきました。その変化を維持するの、変化を改めるのか、判断に迷いがちですが、「心豊かで思いやりある岐高生」を育むための基準で判断していきたいものです。我々は創立百五十周年を迎えた岐阜高校の歴史と伝統を未来に繋げていかなければなりません。

令和5年度も岐阜高校では、生徒の皆さんが「自己」そして「生命」を大切に、安全で充実した高校生活を送るために、全職員でさまざまな活動や指導、支援を行ってまいります。

保護者の皆様も、何かご心配なことがあれば、正副担任や年次主任、あるいは教育相談係まで、お気軽にご相談ください。生徒の皆さんが日々元気に過ごし、自らの目標に向けて切磋琢磨し、社会で活躍する大人へと成長していくため、今後とも家庭と学校との連携・協力をよろしくお願いいたします。

【令和5年度 生徒指導部の重点】

- (1) 自他の生命を大切にするための活動と人権教育の推進
- (2) 「情報モラル」教育の徹底
- (3) 教育相談活動および個に応じた支援の充実

【生徒指導関係の行事・活動】

●担任との懇談週間

四・八・十月

●情報モラル講話

四月

●クレベリン検査・i-check

五月

●命の尊厳講話

六月

●薬物乱用防止講話

十月

●スマホフリーデー

(情報端末の使用を見直す期間)

●心のアンケート

五・九・十一・二月

●いじめアンケート

六・十一・月

●校内迷惑調査

六・十月

●全校交通安全指導

五・十月

●校門・交差点 交通安全指導

毎日

●生活委員によるMSリーダーズ活動

(交通安全指導・環境美化活動など)

●スクールカウンセリング

毎月

生徒指導部からのお願い

以下の点について、保護者の方のご理解、ご協力をお願いいたします。

①基本的生活習慣の確立

規則正しい生活習慣が、高校生活の大切な土台となります。起床・就寝・食事・学習の時間を固定することは、学力を伸ばす点でも効果的です。

②交通ルールを守り、安全に登下校を

余裕を持って登下校
予鈴(8時25分)までに教室へ入室完了し、帰日も決して慌てることがないようご注意ください。

◇自家用車での送迎について

学校周辺の道路や民家の前、私有地など

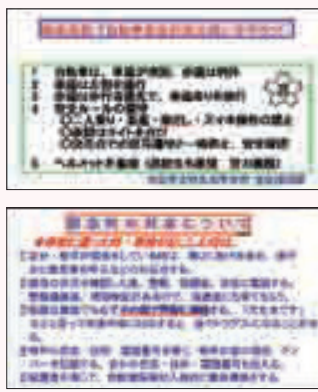
どで乗降しないようお願いいたします。ケガ等で送迎が必要な場合は入構許可証を発行しますので、担任に申し出てください。

◇交通ルールの遵守

交差点、丁字路、大縄場大橋での事故が多発しています。自転車同士の事故や歩行者との事故で加害者となったケースもあります。なお、ヘルメットの着用も努力義務化されましたので、「命を守る」ため積極的なヘルメット着用をお願いします。

◇「自転車安全利用五則」

【緊急事の対応カードの携帯】



③情報端末・SNSの適切な利用

教育活動で情報端末を活用する機会が増える一方、SNSなどへの自他の個人情報や、他人への誹謗中傷といった不適切な書き込み等に起因するトラブルが多発しています。スマートフォン

教育相談係より



始業式、入学式から早くも一か月以上が経ち、今ではすっかり緑がまぶしい頃になりました。

一年次生は、慣れない通学、新しい学習環境や人間関係の中で、緊張の日々を送ってきたことと思います。少し慣れてきたこの時期は、いわゆる「五月病」が出やすい時期です。最近元気がない、勉強に集中できない、学校に行く気がわかないといった様子が見られる場合、「怠け」だと思ってしまうことがありますが、むしろ本人がリラックスして心身ともに休めるようご配慮いただけるとよいかと思えます。

また、二・三年次生は受験を意識するあまり、不安や焦りを覚え、かえって勉強が空回りすることがあります。焦りや弱音が吐ける場が家庭にあればそれだけでまた次へ向かうエネルギーを養うことができるでしょう。温かいサポートをよろしくお願いいたします。

学校では、年に十回、スクールカウンセラーに來校していただき、生徒が悩みを相談できる機会を設けています。学校と家庭の連携を密にし、悩みが深刻になる前に早期対応したいと思えます。心配なことがございましたら、教育相談室までご連絡ください。

教育相談係

【教育相談室・特別支援教育コーディネーター】

福田順子・小林里恵・竹本奈葉子・高瀬智子

【スクール相談員】

大橋聡子

【保健室】

日置雅子・篠田小夏

「何事にも全力で！」

進路指導部

新年度が始まり、皆さんは新しいクラス、新しい環境に馴染んだ頃でしょうか。この春の卒業生は、高校入学当初から、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた高校生活でしたが、それを乗り越え見事な大学入試の実績を残してくれました。各自の目標に向かって全力で取り組む力強い姿を見せてくれた先輩達です。皆さんには、ぜひ先輩達以上の成果を残せるよう一杯取り組んでほしいと思います。

三年次生は、大学受験が少しずつ近づいていることを実感はじめていることでしょう。昨年度より、自らの現状をふりかえり、課題を確認し、その課題を克服するための方法を自ら考え、学習に取り組む習慣をつけてきました。目標に向かって最後まで粘り強く突き進む1年にしましょう。日々の努力の積み重ねが、やがて自信に変わっていくはずです。この一年、大学受験という経験を通して人格的にも大きく成長してください。

二年次生は、自分の進路について知識や考えをさらに深め、人として成長できる1年にしてください。本校で行われる、グローバルリーダー養成事業へ積極的に参加し、新たな考えや価値観を取り入れ、進路選択の一助にしてください。また、総合的な探究の時間では、「課題探究活動」に取り組めます。1年次では「新型コロナウイルスを考える」という共通テーマで実施しましたが、2年次では自らテーマを設定し、

「答のない課題」に取り組めます。しっかりと取り組むことできつとみなさんが大きく成長できるでしょう。

新入生の皆さんへ

新入生の皆さんは、これから始まる三年間の高校生活に期待と不安を抱いて入学してきたことかと思えます。高校では中学校と比べ、一日の学習量が格段に増えます。予習・復習で精いっぱいという人も多いでしょう。今までのやり方では上手くいかない場合もあります。教科担任の話をもとに、高校生としての勉強方法と学習習慣を確立してください。本校では「PSセミナー」や「大学学問研究」などの取り組みが、「総合的な探究の時間」で用意されています。また、「グローバルリーダー養成事業」では、様々な分野で活躍される講師の話を間近で聴き、質問することもできます。大いに活用して視野を広げてください。進路希望を確立しつつ、充実した高校生活を送ることを期待しています。

今年は、創立150周年を迎え、様々なイベントが予定されています。岐阜高校の伝統や誇りを感じられる1年になるでしょう。日々皆さんを応援してください。皆さんに感謝の気持ちを忘れずに、何事にも全力で取り組んでください。皆さんの力で岐阜高校の歴史に新たな1ページを刻みましょう。

令和5年度 進路指導計画

(4月21日現在)

月	1 年 次 生	2 年 次 生	3 年 次 生
4	PTA総会・学級懇談会(28)	年次集会「進路について」(13) PTA総会・学級懇談会(28)	PTA総会・学級懇談会(28)
5	年次集会「科目選択、at東大」(18)	第1回校内実力テスト(8) 年次集会「科目選択」(11)	第1回校内実力テスト(8,9) 年次集会「大学入試スケジュール」(11) 駿台全国模試(14) 希望者 進研共通テスト模試(27)
6	進路意識調査(12)	進路意識調査(14)	PTフォーラム(2) 進路意識調査(13) 医学部希望者ガイダンス(30)
7	進研記述模試(1) 保護者懇談会(12～19)	進研記述模試(1) 保護者懇談会(12～19) 夏季補習(21～27)	進研記述模試(2) 保護者懇談会(12～19) 夏季補習(21～27) 全統共通テスト模試(30)
8	ジョイントセミナーat東大(7,8)	第2回校内実力テスト(23,24)	第2回校内実力テスト(23,24)
9	進路適性検査[R-CAP](5) 医学部ガイダンス(8) PTフォーラム(25)	「卒業生と語る会Ⅰ」(5) PTフォーラム(22)	全統記述模試(3) [公開会場] 年次集会「共通テスト説明会」(7)
10	進路意識調査(2) 年次集会「科目選択」(12) 駿台全国模試(15) [公開会場] 希望者 第1回校内実力テスト(17, 18)	進路意識調査(4) 駿台全国模試(22) [公開会場] 希望者 年次集会「進路、科目選択」(26)	進路希望調査(3) 全統共通テスト模試(7) [公開会場] 全統記述模試(15) [公開会場] 第3回校内実力テスト(17,18)
11	進研記述模試(3)	進研記述模試(3)	年次集会「進路について」(16) 進路検討会(27)
12	保護者懇談会(15～21)	保護者懇談会(15～21)	共通テスト特編①(11,12) 保護者懇談会(15～21)
1	進研記述模試(13) 第2回校内実力テスト(23)	駿台全国模試(13) 第3回校内実力テスト(23,24)	共通テスト特編②(4,5) 共通テスト特編③(9,10) 年次集会「共通テスト諸注意」(12) 大学入学共通テスト(13, 14) 大学入学共通テスト自己採点(15) 特編授業・午後補習(1/16～2/2) 個別懇談会(22～24) (希望者)
2	駿台全国模試(10) [公開会場] 希望者		自宅学習期間 入試特講(5～22) 国公立二次試験前期(25～)
3	「卒業生と語る会Ⅱ」(25)	「卒業生と語る会Ⅱ」(25)	国公立二次試験中期(8～) 国公立二次試験後期(12～)

令和5年度 主な大学入試結果

国公立大学	現・過合格数
北海道大	6
東北大	4
筑波大	1
東京大	13
東京外大	1
東京工業大	2
一橋大	1
横浜国立大	5
富山大	2
金沢大	4
岐阜大	42
名古屋大	51
名古屋工大	11
静岡大	2

国公立大学	現・過合格数
京都大	17
大阪大	9
神戸大	6
広島大	7
九州大	6
岐阜大	14
名古屋市立大	16
国公立計	270

私立大学	現・過合格数
青山学院大	10
早稲田大	29
慶応大	18
上智大	7

私立大学	現・過合格数
東京理大	62
中央大	14
明治大	30
南山大	78
同志社大	108
立命館大	128
私立計	805

医学部医学科	現・過合格数
国公立大学	31
自治医大	4
私立医大	12
医学部計	47

※合格者は延べ数・過年度卒業生も含む

受験との戦い方

今年一年は、今までの人生の中で一番辛かった一年といってもよい年でした。勉強をしているのに満足に結果が出せない自分に絶望し、一日に十何時間も勉強する日が数ヶ月と続き、代わり映えのない毎日に嫌気が差し、でも、勉強することをやめると勉強していいことに焦りと罪悪感を覚え、嫌でも手を動かさないといけない状態になり、何度「逃げたい」と思ったか分かりません。自分にとって受験期は地獄といっても過言ではありませんでした。

そんな受験期を乗り越えられた一つの要因は、周りの友達や塾の先生の存在でした。メンタルがやられた時、すぐに友達や先生に話を聞いてもらいました。頑張っている人に対して冷たい態度をとる人などいません。みんな、僕が前に進めるように、たくさん温かい言葉をかけてくれました。自分は落ち込むと、とことん落ち込むタイプですが、どれだけこれらの言葉が僕の背中を押したか分かりません。勉強の内容とは全く関係のないことですが、僕が志望校に合格できた要因の一つといってもいいでしょう。何でもできる天才でない限り、落ち込むことは誰にでもあります。落ち込むことは悪いことではありません。前に進むうとしている証拠なのですから。そこでためらわず、すぐ周りの人に助けを求めましょう。そしてそのとき、助けを求められる友達や先生は、心から信頼できる人の方がよいです。あなたの周りにそのような人はいませんか。一人でもいれば十分です。きっとその人はあなたをいい方向に導いてくれるでしょう。

そして受験期を乗り越えられたもう一つの要因は、親の存在です。みなさんは今、当たり前前に勉強をしていると思いますが、なぜ当たり前前に勉強ができていたのでしょうか。

令和5年度大学入試 合格者たちの声

今春の大学入試合格者たちの声を掲載します。詳しくは「合格体験記」として、6月に発行予定の「進路の葉」に掲載しますので、ご覧ください。

うか。多くの人はそんなことを疑問に持ったことはないと思います。もちろん、それは親がいるからです。なぜ塾に行っているのか、なぜ電車やバスで学校に行っているのか、なぜ今シャープペンを使っているのか。日常に目を向けると、たくさんの「なぜ」が出てきます。すべて答えは、親がお金を払っているからです。高校生の親の負担は、10代の僕では考えても考えられません。親は勉強に関して何もできることはなく、ただ見守ることしかできません。だからお金で面だけできなく、精神的にも辛いです。それでも、僕たちの思いに反対することなく、後押ししてくれる親の存在を改めて考えると、その偉大さが分かるはずです。周りの環境を当然と思っていけません。「当たり前」ほど、素晴らしいものはありません。「当親の犠牲の上に「当たり前」があるのです。そのことを再確認すれば、自然と勉強に対する真摯な姿勢が生まれてくると思います。

この先いろいろ挫折することがあると思いますが、悔いだけは残さないように!! みなさんが志望校に合格できることを心から祈っています。

受験を通して学んだこと

私が東大志望になってしまったのは、高校1年生の一回目の三者面談の時です。志望校がはつきりしていなかったのですが、担任の先生に「じゃあ東大」といわれたことがきっかけです。東大志望になつてしまったというのは、一度東大志望になるとなかなか後に引けないからです。東大を目指す多浪が続出するのもこれが理由です。しかし、これは単純な東大への執着ではないのです。ただ、何らかの魔力のようなものが東大志望に働くとするのは紛れもない

事実です。この魔力により得られるモチベーションはかなり大きいので、迷ったとあえずネタでもいいので志望校の欄に東京大学と書くことをお勧めします。我々岐阜生は公立高校ということもあり、伸び代がとても大きいので現時点での成績はあまり気にしなくてもいいと思います。特に部活を一生懸命やっていて、勉強にさける時間の限られている人は思い切った志望校選択をするべきです。

時期別にしていた勉強をざっくり述べる、2年生までには基礎基本をガッチガチにし、3年生からは演習型の学習に入っていく、ということ。いくら東大、京大など、難関大学の入試といえども中学の内容と異なり高校の学習はその内容自体が難しいので基礎基本を問う問題がたくさん出ますし、どちらかといえば基本問題を時間内に多く正確に解く能力が試されがちでもあります。基礎基本もままならないのに実戦演習に入るのは絶対にやめた方がよいです。

また、直近の過去問(過去問を最後に残したければ模試をできるだけ早い時期に解くことをオススメします。先ほどの説明に相反しているように聞こえますが、目的は学力の向上ではなくゴールを早めに見据えることです。時間を計り、1〜2回分を実際に取り組んでみないと傾向はつかみません。定期的に行い自分の足りない部分を知ることは重要なので、高1、高2のうちから東大模試をたくさん受けておけば良かったと今では思っています。冠模試の用意されている大学であれば問題のセット数の心配は要りません。いくらでもオープン、実践の過去問があります。私の場合、実際に受験直前期はF.P室の膨大な問題の数々にお世話になりました。

最後に、日本が誇るこの「大学受験」とい

う制度について東大受験を通して感じたことを語りたいと思います。私が考えるに、大学受験は学力云々ではなく、いかに自分を律して努力できるかが重要になります。時に、この熾烈な学歴社会に疑問を感じますが、たかだか高校レベルの勉強で努力できない人間は、将来、社会人になって努力できません。ここでいう努力とは、単にがむしやらないことではなく、ゴールを早期に見据え、計画的に物事を進める、など冷静さも伴うものです。自分自身の努力の方法を確立することも大学受験の醍醐味だと感じました。

憧れるのはやめましょう

私は2年生から本格的に勉強を始め、成績が上がったこともあり2年の夏から一橋大学を目指し、結果的に現役で合格することができました。一橋大学を目指した1年半は知力も精神力もとても成長できた期間だったと思います。

私はもともと頭がいいタイプではなかったし、まじめに勉強するタイプでもなかったです。岐阜高校に入れたのが今でも信じられません。そんな私にとって一橋大学は、生まれつき自分とは頭の構造が違う別次元の人間がいくところだと思っていました。一橋大学に入るのに生まれつきの頭の良さなんてほとんど関係ないです。私が皆さんにお伝えしたいのは受験における「頭がいい」は誰でも作れるということです。基礎から丁寧に勉強し、勉強を継続的に言い、自信をもって試験に臨めばきっと憧れの難関大学に合格できると思います。

私が受験勉強において大事だと思うことは2つです。

まずは基礎です。基礎は、学校や塾の授業を受けているから身につくというものではなく、自分で暗記して身につけなくてはなりません。私は2年の春休みに1日5時間くらい英単語帳と向き合っ、単語を見

たら2秒以内に意味がこたえられるまで何度も回していました。

もう一つは、継続することです。継続に重要なのは無理をしないことだと思っています。どれほど試験が近づいても睡眠時間を削って勉強することはなかったですが、起きている間は勉強をし、休日は朝8時には塾に行き1日12〜13時間くらい、平日は5〜6時間くらい勉強をずっと続けていました。時間を記録するアプリもありますが、私的に時間を気にすると自分に必要な勉強よりも効率的に時間がつぶせる勉強をしてしまうので時間は気にしないほうがいいです。

3年になってからは計画的に勉強するのいいと思います。一橋大学は、すべての学部で問題が同じなのに学部で点数配分が極端に違います。そのため自分で目標点数を決め、それに即して勉強内容を決めています。また、模試は偏差値や順位を見るというより、どの科目ができていないのか、自分が重点的に勉強したところかどうのくらい伸びているかを見るためのものだと思っていますので、模試が返ってきたらしっかりと反省をして、勉強方法を考えながらまた計画を立て直していました。

最後に、高校生活は一度きりなので後悔しないように遊びまくってください。友人は受験でつらくなった時本当に心の支えになります。皆さんが今はまだ憧れかもしれない志望校に合格して、自分の母校だと胸を張って言える日を願っています。



奄美大島・屋久島自然科学探究研修

マレーシア・ボルネオの海外研修の代替として、奄美大島・屋久島への研修を実施しました。三月十三日(月)から十七日(金)までの四泊五日の日程で、一・二年次生の希望者二十三名が参加しました。

研修一日目

◆奄美パーク

奄美大島の自然と文化を展示や映像の説明から学びました。

◆奄美海洋展示館

ウミガメやフグなど奄美地域の海に生息する珍しい生物を観察し、海洋についての理解を深めました。

◆ナイトツアー

夜の山で夜行性の生物の生態を観察しました。特別天然記念物のアマミノクロウサギや、絶滅危惧種のケナガネズミ、アマミヤマシギ等を見ることができました。また自生する地域が北限となるモダマも観察しました。

研修二日目

◆マングローブ林

マングローブを観察するため、カヌーに乗って汽水域に生息する植物を観察しました。

◆世界遺産センター

世界自然遺産に登録された奄美大島の特徴を、職員の方から説明していただき、守るべき自然の価値を学びました。

◆野生生物保護センター

研究員の講義を受け、外来種のマンガースを根絶しなければならない理由と根絶のための過程、また新たに発生した課題について学びました。

研修三日目

◆屋久島有用植物リサーチパーク

熱帯、亜熱帯特有の植物及び屋久島の固有植物の見学、屋久島で生産される果実などの植物の観察をしました。

◆屋久杉自然館

屋久杉の特徴と、屋久杉の利用と林業の歴史、屋久杉の保護保全について学びました。

研修四日目

◆縄文杉登山

世界自然遺産に登録された地域を、数々の屋久杉や森林を形成する多様な植物、地質や生息する動物などを見ながらトレッキングし、縄文杉を見学しました。

研修五日目

◆屋久島環境文化村センター

屋久島の多様な自然について、陸上の生物だけでなく海洋生物についても学びました。屋久島に住む人々の生活や、様々な伝承についても学びました。

◆屋久島ウミガメ館元代表理事 大牟田一美さんの講演

屋久島の海岸で産卵するウミガメを守るため、砂浜の保全活動を行い、自然を守る活動をされていた大牟田さんの講演を聴きました。



各年次団紹介

1 年次団



◎ 年次主任 ○ 副年次主任

【後列右から】		【前列右から】	
年次所属	太田 晶子 (理科)	1 組担任	岸本 真里 (英語)
年次所属	北川 幸久 (数学)	2 組担任	若岡 亮仁 (数学)
1 組副担任	今井 順也 (保健体育)	3 組担任	柘植 由衣 (保健体育)
2 組副担任	服部 晶子 (地歴・公民)	4 組担任	大野 玲子 (英語)
3 組副担任	筑間 敦博 (芸術)	5 組担任	武藤 雅紀 (数学)
4 組副担任	金武 愛子 (国語)	年次主任	◎ 森 智子 (英語)
5 組副担任	遠藤 久美子 (理科)	6 組担任	井上 智也 (地歴・公民)
6 組副担任	北川 真珠子 (国語)	7 組担任	高橋 慎治 (地歴・公民)
7 組副担任	田中 諭志 (数学)	8 組担任	○ 藤澤 友祥 (国語)
8 組副担任	阿部 希容衣 (芸術)	9 組担任	森 (理科)
9 組副担任	竹本 奈奈子 (英語)		
年次所属	谷口 輝己 (芸術)		
年次所属	古川 徹 (芸術)		

2 年次団

◎ 年次主任 ○ 副年次主任

【後列右から】		【前列右から】	
年次所属	伊藤 拓磨 (情報)	1 組担任	木野村 淳子 (英語)
年次所属	白木 聖美 (英語)	2 組担任	塩澤 一樹 (数学)
1 組副担任	大谷 太一 (地歴・公民)	3 組担任	井深 克憲 (数学)
2 組副担任	後藤 祐太郎 (国語)	4 組担任	澤田 宏 (国語)
3 組副担任	高瀬 智子 (国語)	5 組担任	及川 太郎 (理科)
4 組副担任	柘植 望 (保健体育)	年次主任	◎ 覺田 敬 (理科)
5 組副担任	市原 英正 (保健体育)	6 組担任	小池 春陽 (英語)
6 組副担任	日比野 良平 (理科)	7 組担任	石川 翔太 (数学)
7 組副担任	小林 里恵 (家庭)	8 組担任	○ 伊藤 翼 (地歴・公民)
8 組副担任	山崎 友梨 (数学)	9 組担任	各務 なつみ (国語)
9 組副担任	水谷 圭佑 (地歴・公民)		
年次所属	加藤 早亜也 (数学)		



3 年次団

◎ 年次主任 ○ 副年次主任



【後列右から】		【前列右から】	
年次所属	藤吉 真理子 (国語)	1 組担任	○ 八代 周士 (数学)
年次所属	岩井 恭平 (保健体育)	2 組担任	伊藤 誠人 (理科)
2 組副担任	川村 謙二 (地歴・公民)	3 組担任	棚橋 誉久 (理科)
3 組副担任	福田 順子 (英語)	4 組担任	瀬川 雄一郎 (理科)
4 組副担任	森本 碩 (英語)	5 組担任	田口 宗右都 (地歴・公民)
5 組副担任	古橋 康次郎 (数学)	年次主任	◎ 前田 博子 (英語)
6 組副担任	堀口 和人 (英語)	6 組担任	永瀬 晶子 (理科)
7 組副担任	糸井 紀 (保健体育)	7 組担任	早水 寛幸 (数学)
8 組副担任	石榑 啓乃 (数学)	8 組担任	若山 智也 (国語)
9 組副担任	古川 真哉 (国語)	9 組担任	加藤 健司 (地歴・公民)
年次所属	伊藤 誠司 (理科)		

はR日課

6月行事予定		7月行事予定	
日曜	行事	日曜	行事
1 木	▲前期中間考査(～6/6)	1 土	1・2年進研記述模試 PTA林間学舎奉仕活動
2 金	3年PTフォーラム	2 日	3年進研記述模試 1・2年進研記述模試(追試)
3 土		3 月	朝読書週間(～7/7)
4 日		4 火	▲合同応援練習
5 月		5 水	教室ワックスがけ③
6 火	伝達表彰・壮行会・ 命を守る訓練②(考査後)	6 木	PTA林間学舎奉仕活動反省会 GK150講演会(午後) [木235、45限講演会、LHRカット]
7 水	教育実習(～6/20 or 6/27) 1年球技大会(午後) [60分6限授業、2年6限LHR、3年6限月6]	7 金	▼
8 木	2年球技大会(午後)	8 土	
9 金	GK150講演会[命の尊さ講話] PTA実行委員会 [50分、6限LHR(70分)]	9 日	
10 土	即興型ディベート交流会	10 月	授業料等納付日
11 日		11 火	
12 月	3年球技大会(午後) 1年進路意識調査 授業料等納付日	12 水	▲保護者懇談会(午後、～7/19) [50分R2345] 岐高だより「152号」発行
13 火	3年進路意識調査 (球技大会予備日)	13 木	3年次集会(進路) [50分木1236] 1年次集会(林間学舎) GK150美術展特別展(～7/23)
14 水	2年進路意識調査 勤体②	14 金	[50分金1235]
15 木	体育大会結団式(LHR)	15 土	東大ブレ
16 金	教室ワックスがけ① 東海高P連岐阜大会	16 日	東大ブレ
17 土		17 月	〈海の日〉
18 日	名大ブレ	18 火	[50分火1235]
19 月		19 水	▼ [50分水1235]
20 火		20 木	大掃除・終業行事・伝達表彰・壮行会(34限) [50分木45]
21 水	勤体③	21 金	夏季休業(～8/22) 2・3年夏季補習(～7/27) 1・2年林間学舎活動(～7/31)
22 木	1年応援練習(放課後)	22 土	▲
23 金	教室ワックスがけ② スクールカウンセラー	23 日	京大ブレ
24 土		24 月	
25 日		25 火	高校見学会
26 月		26 水	高校見学会
27 火		27 木	▼
28 水		28 金	
29 木	2・3年体育大会種目決定(LHR) 1年体育大会種目決定・学舎活動①(LHR)	29 土	
30 金	3年医学部ガイダンス 職業学問体験プログラム(地域医療)	30 日	3年第2回全統共通テスト模試
		31 月	▼ 図書館休館(～8/22)
備考	県いじめアンケート① 校内迷惑調査① 心のアンケート 林間学舎事前健康調査・健康相談	備考	SOSの出し方講話 スクールカウンセラー 心のアンケート 命を守る訓練③ 林間学舎健康相談 在京同窓会総会



部活動だより ● 部活加入一覧



(令和5年4月18日現在)

部 名	顧問	所属生徒数									
		男 子				女 子				合 計	
		1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計		
硬 式 野 球	北川(英) 八代 伊藤(翼) 若山	12	11	14	37	6	3	3	12	49	
陸 上 競 技	柘植(由) 今井 伊藤(人)	8	10	9	27	2	7	12	21	48	
サ ッ カ ー	柘植(望) 田口(宗) 高橋 (田口(未))	17	12	8	37	0	2	0	2	39	
バ レ ー ボ ー ル	寛田 古川(真) 服部 市原 篠田 (岩倉)	3	9	4	16	4	9	5	18	34	
バスケットボール	若岡 大谷 杉山 瀬川	7	10	8	25	10	4	6	20	45	
ソ フ ト テ ニ ス	後藤 前田 森本 堀口	3	10	7	20	4	4	7	15	35	
水 泳	糸井 加藤(早)	4	7	4	15	0	5	2	7	22	
卓 球	塩澤 古橋 高瀬	11	10	12	33	5	6	4	15	48	
バ ド ミ ン ト ン	早水 武藤 各務 川村 (桑坪)	23	13	3	39	15	6	8	29	68	
柔 道	岩井 (伊藤(司)) (新井)	1	1	0	2	0	0	0	0	2	
剣 道	永瀬 小池	3	3	9	15	4	5	1	10	25	
軟 式 野 球	及川 水谷	14	9	10	33	2	1	1	4	37	
テ ニ ス	伊藤(佑) 加藤(健) 田中 石川 (丹羽)	12	10	3	25	10	8	17	35	60	
ハ ン ド ボ ー ル	黒井 藤澤 (正田)	6	8	11	25	0	2	1	3	28	
体 育 系 合 計		124	123	102	349	62	62	67	191	540	

部 名	顧問	所属生徒数									
		男 子				女 子				合 計	
		1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計		
美 術	谷口 日置	1	0	3	4	6	8	5	19	23	
書 道	筑間 石樽 古川(徹)	1	1	0	2	14	9	9	32	34	
演 劇	井上 山崎	2	3	2	7	5	3	3	11	18	
音 楽	阿部 北川(真)	4	7	3	14	10	5	6	21	35	
文 芸	竹本 金武 (古川(真))	0	2	0	2	1	2	2	5	7	
茶 華 道	福田 藤吉 (横井) (井上)	0	0	0	0	3	4	5	12	12	
自 然 科 学	森(有) 日比野 太田 棚崎 遠藤 (園部)	28	21	18	67	21	2	6	29	96	
E S S	岸本 木野村	3	5	1	9	13	8	7	28	37	
調 理	小林	0	0	0	0	8	13	6	27	27	
写 真	村橋 尾関	3	8	2	13	4	10	4	18	31	
囲 碁 ・ 将 棋	井深 伊藤(司)	5	8	2	15	2	1	0	3	18	
吹 奏 楽	白木 森(智) 北川(幸) (谷口)	7	5	7	19	10	15	14	39	58	
ク イ ズ 研 究	澤田 大野	11	23	6	40	5	3	4	12	52	
文 化 系 合 計		65	83	44	192	102	83	71	256	448	

局 名	顧問	所属生徒数									
		男 子				女 子				合 計	
		1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計		
図 書	笠井 藤吉	6	3	1	10	10	5	3	18	28	
放 送	森(有) 瀬川 村橋	3	3	2	8	4	0	3	7	15	
応 援 団 女 子	加藤(早)・石樽	0	0	0	0	12	12	19	43	43	
局 合 計		9	6	3	18	26	17	25	68	86	

転入

後列右から

数学

保健体育

保健体育

書道

情報

養護助教諭

事務部

国語

国語

地歴・公民

地歴・公民

教頭

数学

数学

転出

前列右から

加藤早重也

今井 順也

岩井 恭平

古川 徹

伊藤 拓磨

篠田 小夏

西垣 文晴

大谷 太一

高瀬 智子

北川真珠子

大谷 太一

常豊

服部 晶子

育見休業から復帰

武藤 雅紀

郡上高等学校

山崎 友梨

(新規採用)

令和5年度 教職員人事異動 (敬称略)



転入

後列右から

英語

保健体育

保健体育

数学

数学

地歴・公民

地歴・公民

国語

国語

教頭

森 敦士

生駒麻美子

籠橋美和子

三浦 寛之

加藤 紫帆

栗田 和輝

大野 隼人

浅野 和道

山北 俊輔

山県高等学校

大野 麻未

末岡 良明

桐山 聖和

(華陽フロンティア高等学校)

転出

前列右から

加藤早重也

今井 順也

岩井 恭平

古川 徹

伊藤 拓磨

篠田 小夏

西垣 文晴

大谷 太一

高瀬 智子

北川真珠子

大谷 太一

常豊

服部 晶子

育見休業から復帰

武藤 雅紀

郡上高等学校

山崎 友梨

(新規採用)